

# 『済州と沖縄をつなぐ』 国際ワークショップ&講演会

このワークショップ・講演会では、1948年に韓国・済州島で起きた「4・3事件」を、沖縄の近現代史と結びつけながら考えていこうと思います。講師の金東炫氏は、文学研究を続けながら、済州島4・3事件の真相究明に長年取り組まれてきました。あわせて、韓国・慶熙大学のグローバル琉球・沖縄研究センターが主催した国際学術大会も紹介し、日本・韓国で交差する4・3事件研究と沖縄研究の現状についても報告します。気軽にご参加ください。

## 企画1) 国際ワークショップ

### 『済州と沖縄をつなぐ』

2019年12月19日(木) 17:30～20:00

東京外国語大学 プロジェクトスペース (アゴラ・グローバル3階)

★ 研究報告 友常勉氏 (本学)

慶熙大学校国際学術大会 (2019年11月15日) 報告

「『沖縄学』は可能なのか—ポスト伊波普猷時代の挑戦と展望」

★ 講演 金東炫氏 (文学評論家、済州大学校)

「済州の視座から読み解く沖縄」

★ コメンテーター 上原こずえ氏 (本学)

## 企画2) 講演会

2019年12月20日(金) 17:30～20:00

東京外国語大学 研究講義棟 102室

★ 「4・3事件」関連映像上映

★ 講演 金東炫氏 (文学評論家、済州大学校)

「東アジアにおける済州島のポジショナリティ

—済州4・3事件を中心に—

\*\* 一般公開

\*\* 申し込み不要

\*\* 通訳あり

共催 東京外国語大学 国際日本研究センター 比較日本文化部門

お問い合わせ先 (国際日本研究センター) tel:042-330-5794 email:info-icjs@tufs.ac.jp